

平成三十年 年頭挨拶

代表取締役社長 田中秀司

新年あけましておめでとうございます。昨年六月に代表取締役社長に就任いたしました早いもので半年が過ぎました。こうして皆さんと新しい年を迎えることができうれしく思います。

昨年の当社は、Eスポット二店舗オープンと、Eショップの新店オープン、リニューアル等、多くの進展がありました。さらにはECS様より、「首都圏」の「代理店」との表彰を頂く事もでき、また一段と進化した一年でした。日々精進して頂いている皆様のお力が、このような結果を実現しています。素晴らしい事です。

ダーウィンは「進化論」で「生き残るのは、強いものでも、賢いものでもなく、変化できるものである」と言っています。これは企業でもいえることで、社会の中でいかに周りに目を向けられるかということが求められ、積極的に変化していくことが会社を「継続する」という最も大切なことにつながります。日本では、創業百年を超える企業は、約二万六千社あります。世界単位で見ても創業二百年を超える会社の四十、四十五%が、日本に存在しています。創業千四百年という世界最古の会社も日本です。何故、こんなにも長い期間、経営ができるのでしょうか。それは、「三方良し」の商売の基本が根底にあるからです。商売は、「売り手」「買い手」「世間」のそれぞれにとって良くなるように商いをしたいきなさい。という考え方です。当社においてあてはめると、「エンドユーザー」「社員」「キャリア」「地域社会」「当社」それぞれの立場から、日本一と認知される組織を目指す事です。

この「三方良し」を唱えた近江商人は、十の教えがありその一つ目には、「商売は世のため、人のために奉仕して、利益はその当然の報酬なり」と教えています。自分の利益だけを…と言うような考えは、ダーウィンの理論から言っても「自己の種の存続だけを考える」ということになり絶えてしまうでしょう。百年を超える企業の共通点は、自社の理念に必ず社会貢献・地域貢献に関するものがある事です。

代理店間の競争の激しい今の時代を勝ち抜き、すべてのステークホルダーにとって日本一の組織を、引き続き目指して参りましょう。そして、私たちが創りだす「ゲートバイショップの理想的な姿」を、日本中に広めていきましょう。さらには、店舗網を含めた日本の通信インフラや、通信インフラにおける店舗サービスの在り方が、世界の模範となるようにしていくのです。

正しさと強さを常に追求し続け、田中電子を中心としたEグループを、日本一、そして一百年企業とする為に、引き続き精進して参りましょう！本年も宜しくお願い致します。



新年あけましておめでとうございます。昨年は、新社長が就任して会社自体が大きく変化した一年でありました。会社にとって事業承継は大変難しく「企業理念、企業風土」を受け継ぐことができるかできないかで会社の将来を左右してしまうほどのものです。当社は、綿密な計画のもとこの事業承継は順調に進み大きな飛躍への第一歩となりました。

「伝えるべきものは伝え、変えるべきものは変える」とこの重要性を認識してからこそ成しえたものです。今後、内外問わず色々な変化があり、それらに対応していかなくてはなりません。そのためには皆さんのひとりひとりの力を一致団結することが必要です。社長をはじめ社員全員で日本一の携帯電話販売代理店を目指しましょう！

取締役会長 田中隆司



皆さん、新年明けましておめでとうございます。新たな気持ちで一年が始まります。皆さんのそれぞれの夢に向かって邁進しましょう！ある名言に「夢のある者には希望がある：希望のある者には目標がある：目標のある者には計画がある：計画のある者には行動がある：行動のある者には実績がある：実績のある者には反省がある：反省のある者には進歩がある：進歩のある者には夢がある」というものがあります。夢をもつことで自分の生き方が変わります。だから自分の可能性を信じて行動しましょう！幸いにも皆さんは、田中電子に入社したということの後押ししてくれる環境があります、つまりツイているのです。このチャンスを活かすためには心身とも健康であることが大切であり、それが心を育てることもつながります。そして皆さんと一緒に百年企業を築きましょう！

専務取締役 富樫和行





二〇一七年 社員大会 大盛況!

今年の最後の大イベント、田中電子恒例「社員大会兼忘年会」も無事に終了しました。
十二月五日火、ユーカーが丘のウイシユトンホテルの五階で午後八時より開催となりました。百三十名の大宴会の始まりです。
専務の乾杯があり社長挨拶と今年一年間の皆さんの労をねぎらい、来年も飛躍の年にすべく社員全員が「致団結して臨むことを誓いあいました。」

今回の社員大会では初めての試みがありました。日頃、店舗のイベントなどにも登場して人気のあるマジシャン「マホロバさん」が田中電子のためにマジックを披露していただきました。時間が許せば大イリュージョンでも見せていただきかったのですが、とてもタイムなスケジュールだったため舞台でのマジックをひとつとテーブルでの簡単なマジックをしていただきました。舞台で協力していただいたのは、北習志野の今井くんです。マジックの内容は、今井くんとマホロバさんと司令の岸中さんの3人がそれぞれ水の入った紙コップを頭の上にもって「斉に音楽に合わせ、時計回りに1回転、反時計回りに1回転します。回転しているときに今井くんが気づかれないように岸中さんとマホロバさんはコップの中の水を飲んでしまいます。二回転した後、岸中さんがコップを逆さまにすると水が消えていました。次にマホロバさんがコップを逆さまにします。やはり水は消えて無くなっていました。あたりまでですね。最後に今井くんの番です。誰もが今井くんは、水を飲んでいないので頭から水をかぶると思っていましたが、あら不思議、コップを逆さまにしても水は消えていたというマジックでした。このマジックショーは、斬新な企画だったのではないのでしょうか。みんなも楽しめましたよ。



ミニゲームは、今回「大綱引き大会」です。八チームのトーナメント形式で優勝を決めます。以前は、第二位、第三位まで決めて賞金でしたが今回は、優勝チームのみが賞金を獲得できます。金額も大きいのでかなり真剣でした。一応規定で二チーム男女それぞれ2名を選出するのですが、勝ち上がってきたチームには女性が少ない店舗もあり「二回戦から決勝までフル出動した方もいました。影のMVPですね、翌日、身体は大丈夫だったでしょうか。影のMVPです。優勝したチームは、新鎌ヶ谷・船橋三咲のチームでした、おめでとうございます。」

社員大会のメインとしては、今年入社した全員が舞台上がってもらいひと言挨拶をしました。初々しいですね。その後、今年結婚した方、今年、お子様が生まれた方の紹介。そして功労賞として勤続十年の皆さんの紹介です。そして勤続二十年の志賀さんの表彰です。二十年間、お疲れ様でした。社長も挨拶の中でご自身が子どもの頃、夏休みの宿題を志賀さんに手伝ってもらったということをおっしゃっていましたので二十年という時間は、貴重な時間だったのでしようね、大に歴史あり...」



勤続10年の皆さん、左から濁川さん（印西）菅澤さん（潮来）新見さん（勝田）佐藤翔史さん（マネージャー）小手さん（新鎌）尾高さん（印西）佐山さん（本店）の7名です



勤続二十年、志賀さんです